

応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪 令和7年7月1日発行



# あい風通信

## 65号

(学びのスタンプ通算 72号)

### 共に学び、共に育つ場として発展を目指します

いしかり市民カレッジ学長(市長) 加藤 龍 幸

平成21年に市民ボランティア「いしかり学びをつくる会」と石狩市教育委員会が協働し開校した「いしかり市民カレッジ」は、今年で17年目を迎えます。この間、多くの市民の皆さまが多彩な講座に参加し、学びを通して地域の絆を育んでこられました。毎年の講座は、時代や地域のニーズに応じたテーマを取り上げ、知識の習得だけでなく、参加者同士の交流の場としても大きな役割を果たしています。市民の知識を深め、健康を支え、豊かな心を育てている「いしかり市民カレッジ」は、暮らしの文化を高め、社会福祉の向上にも貢献しています。今後も多くの方々にご参加いただき、共に学び、共に育つ場として発展を目指してまいります。



また、これからも市民カレッジの灯を絶やすことなく、次なる節目となる20周年に向けて着実に歩みを進め、参加者の皆さまに大いにご期待いただけるような講座の企画に努めてまいりたいと存じます。今後とも、皆さまのご参加とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 7月からの講座のご案内



### 主催講座

※7月9日から4回にわたって開催する講座7「太平洋戦争、日本降伏を巡る米ソの暗闘」は前号で掲載済みです。

#### 講座8 「石狩市都市計画マスタープランとスマートシティ構想」

講師 鶴沼 雄一 石狩市建設部建設総務課都市計画担当主査

日時 7月22日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

◇石狩市の歴史、文化や自然環境を初めとして様々な魅力を活力に持続可能な「まちづくり」を推進していく石狩市都市整備計画を学びます。内容は「石狩湾新港の更なる発展」「住みよいまちづくり」「一次産業の確保、向上」「優れた観光資源の活用」の4つの大方針です。

#### ☆いしかり学コース



#### 講座9 「空知の北海道遺産を訪ねる～月形樺戸博物館と北海幹線水路見学～」

##### ☆教養・文化コース

日時 8月4日(月) 9:00~17:00 《見学学習》

集合場所 石狩市民図書館

◇空知地方の北海道遺産である月形樺戸博物館と北海幹線水路を見学します。月形樺戸博物館にある樺戸集治監は、政治犯の収容と北海道開拓を目的として明治14年に開庁。北海幹線水路は、赤平市・北海頭首工で空知川の水を取り込み約80km流れて南幌町に至る国内最大の水路です。



**カレッジ生のみなさま 令和7年度の更新手続きはお済みでしょうか！**  
お忘れでしたら 早めにご協力をお願い致します (年度会費は 1,000円です)

## 講座 10「北海道の宇宙産業とその未来」

☆教養・文化コース

第1回 「宇宙関連企業の見学学習」 Letara(株)、Polaris 江部乙研究施設 (滝川市)

日時 9月8日(月) 8:00~16:00

第2回「北海道の宇宙産業」

講師 永田 晴紀 北海道大学大学院工学研究院 教授

日時 9月18日(木) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター



◇長年一次産業で栄える北海道ですが、今北海道は「宇宙産業（ビジネス）」の拠点として注目されており、その拠点として宇宙産業の取り組みが盛んです。なぜ北海道なのでしょう？ 今後の産業、ビジネスとして期待できるのでしょうか？ その現状と将来の展望はどのようなのでしょうか？…宇宙産業の実情を通して北海道の未来を展望します。

## 講座 11「石狩湾新港30年の歩みと今後の展望」

☆いしかり学・地域企業コース

第1回：「石狩湾新港30年の歩みと今後の展望」

講師 田岡 克介 石狩湾新港振興会会長・前石狩市長

日時 9月16日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回：「石狩湾新港を見学しよう」

訪問先 ホクレンパルライス、エース (見学予定)

集合場所 石狩市民図書館

日時 11月4日(火) 9:00~12:00

ガイド：石狩湾新港管理組合職員同乗 説明：企業担当者



石狩湾新港管理組合提供

◇石狩湾新港は、昭和57年に第1船が入港し現在では複数の外資定期コンテナ航路が運航し、LNGをはじめとするエネルギーの輸入や、道産食品の輸出にも大きな役割を果たしています。北海道の日本海側の物流・経済交流の拠点としてますます重要性が高まっており石狩市のバックボーンでもある石狩湾新港を多くの市民に伝えることは重要です。

## まちの先生企画講座

### 講座 4「くらしに役立つ風呂敷術」

講師 齋藤 紀子 ※定員 20名 教材費 1,500円(3回分)

第1回「基本の知識とラッピング包み」 期日 7月4日(金)

持ち物：ペットボトル500mm(中身入り)2本とA5サイズの本2冊

第2回「様々なバッグの結び方」 期日 7月18日(金)

持ち物：持ち手が2つついたカバン

第3回「日常から災害時やオシャレに使う」 期日 8月1日(金)

持ち物：ボックスティッシュ

※時間はいずれも 13:30~15:00 会場 石狩市民図書館視聴覚室

◇基礎の結び方、ラッピング活用法、おしゃれや子育て、災害時など多様な活用術を学びます。



## ホームページから Facebook が見られます！

ホームページから「いしかり市民カレッジ」の Facebook が見られるようにしました。左側コンテンツのリンク集の下にある

Facebook のアイコンをクリックするとご覧いただけます。

トピックスとは一味違う記事を心がけていきますので、

ご期待下さい。

あなたの「いいね」待ってます！



### 市民カレッジデータ

(7月1日現在)

○登録者~112人

○連携団体~104団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

いしかり市民カレッジを  
応援しています

# この方に聴く

北海道史研究家・ノンフィクション作家

生涯、1000 回講座開催が目標です

**森山 祐吾**さん



## 一歴史講座を始めたきっかけを教えてください

現役時代、仕事の合間に各地の名所・旧跡・博物館などを訪れたとき、案内してくれたボランティアガイドが、「案内のために日々学習を重ねる楽しさと、来場者が理解を深めて満足して帰られるのが何よりの喜び」と語っていたことが強く印象に残っていました。この思い出が退職後の道（郷土史研究）を決めるヒントとなりました。

## 一この間、どのくらい学習し、講座を手掛けられましたか？

退職後の予備学習などで3年を経て、2010年から歴史講座を開始し、本年7月で15年経過。定期講座（3講座）と他所臨時講座は計640回。欲張りすぎですがこの先も健康に留意し、満92歳まで続けて目標は1000回達成です。

## 一歴史を研究し、教える中で感じていることは何ですか？

埋もれつつある北海道史に光を当てると、逆境にもめげず強い信念を持って生き抜いた人々や、意外な史実が見えてきます。そこには混沌とした現代に生きる私たちに、元気を与えてくれるヒントがあります。先人の足跡とその時代背景を分かりやすく解説し、受講生の皆さんと歴史を学ぶ楽しさを共有していきたいと思います。

## 一先生にとって歴史を学ぶ意義とは？

世界がどちらに向かって動いているのか分かりにくくなっている今日、人類が過去に蓄積してきた英知を掘り起こし、「過去と現在の対話」を実践することが大切です。そのためには歴史を学ぶことによって、「過去の失敗を繰り返さないため」「時代に翻弄されずに生きていくため」「自分の頭で考える力をつけるため」の3つができるようになるからです。その上、学びを続けると自分の世界が広がり、人生をなお一層心豊かに過ごすことができるパワーが生まれてきます。

## 一いしかり市民カレッジの印象や感想は？

受講生は高齢者が多く見られますが、皆さん歳に関係なくいつも明るく、もっとたくさん学びたいという向上心が溢れています。その前向きな心の持ち方が、心身の若さを維持することにつながっていきます。

## 一いしかり市民カレッジへのメッセージをお願いします

日頃から幸福感と充足感を得るため、多様な人との交流や新たな知識、そして好奇心と創造的な感性を持ち続けましょう。何よりも豊かな教養と賢く生きる意志を持ち続けることは、次の世代への手本となるものです。

## 新しく事務局に入りました！ どうぞよろしくお願いいたします

### 首藤 貴彦さん ～皆さんの学びのサポートをさせていただきます

はじめまして！4月の人事異動で社会教育課に配属になりました首藤貴彦（しゅどうたかひこ）です。異動前は地域包括ケア課で経理・契約と介護予防に関する事務を担当しておりました。社会教育事業については不慣れなためわからないことも多々あるかと思いますが、その都度学習しながら、いしかり市民カレッジの皆さんの学びをサポートさせていただきます。



### 村田 範江さん ～皆さんから刺激をいただこうと思っています

こんにちは。高齢者支援課から異動し、4月よりお世話になっております村田範江（むらたのりえ）です。ずいぶん前に、公民館担当として市民カレッジの活動を見ていましたが、その頃から引き続き活動されている方もいることに驚いております。そして、意欲をもって活動されることが、健康にもつながっているのだと市民カレッジのスタッフ・受講生を見て実感する日々です。市民カレッジの皆さんから刺激をいただこうと思っています。

## 受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた  
ご意見・ご感想の一部を要約して紹介しています。

### ◇主催講座 1「パレスチナを中心とした難民問題の実情」

「人間の命、人権、健康、尊厳を守り増進させる医療奉仕団に頭が下がります。今回こんな講座ができたことに大変嬉しく、頼もしく思います」「パレスチナの現状、恐怖で胸が苦しくなる状況、人間ではない行動、戦争しか知らない子供たち。人を殺し、殺される体験をしなければならない軍事支配の国のある現実を、猫塚先生の生命をかけた行動により、具体的に直に話していただいたことに感謝し敬服しています」「この現状は絶望的としか思えません。私達に何ができるのでしょうか？平和を祈るだけ。決して無関心ではありません」



### ◇主催講座 2「アイヌもやもや」

「マジョリティとマイノリティの問題、人権問題、差別意識をまた改めて見直していかなければ・・・と、学ぶことが多く考えさせられる有意義な講座でした」「アイヌの人々の営みが無かったことになっていることに気づかされました。差別についてももっと勉強しなければならないと思いました」「無意識の部分に埋め込まれた意識を表に出して気づかされたことがたくさんありました。もう一回余分の時間を取ってお話を聞きたかった。受講者の間でディスカッションなどがあればよかったです」



### ◇講座 3「初心者のための初心者の俳句教室」

「俳句の町石狩の歴史と現状を知る機会になり又、俳句の基本を学べ大変興味深い講座でした。楽しかった！」「先生の例題から季語の比較をしたところが特に面白かったです」「大変楽しい時間でした。ワクワクして受講しました。講師の例句素晴らしかった！」「老いに負けず死ぬまで俳句を趣味としていきたいと思います」「俳句の基本スタートの一歩でした。とても楽しく学べました。句会の重要性を感じています」「季語の使い方が上達のコツか！」



### ◇主催講座 4「北海道にあったオホーツク文化・擦文文化」

「縄文文化とは、土器の文様の違いくらいしか知らなかったが住居の形やかまどの存在などははっきりした特徴がある事を知り大変興味深かった」「擦文文化の初期に東北地方から移民の可能性があるという話が面白かった。この可能性はアイヌ文化の多様性にも反映しているのでしょうかね。義経伝説との関連も興味深いです」「図や映像をたくさん見せていただいたのお話しとても分かりやすかった」「出身地が道東でこんなにも豊かな文化があったことに驚いています。ありがとうございました」



### ◇主催講座 5「北を護った藩士たち～蝦夷地の幕末～」

「内容・資料・講座内容も豊富で歴史を十分理解できました。」「白老の話は初めて聞かせてもらった。貴重な話でした。ハマシケシケ陣屋跡の重要さを再認識しました。両陣屋跡関係者の今後の奮闘を期待しております」「幕末の知られていない警備の陣屋についてお話いただきありがとうございました。幕末の緊迫した状況が見える形で残されて欲しいと思っています」



### ◇主催講座 6「石狩歴史散歩～本町地区続編と石狩八幡地区～」

「石狩に来て50年ほどになりますが、初めて知ることばかりでした。講師の方の熱心な資料集めとご説明に大変感服いたしました」「大変すばらしい石狩歴史散歩でした。石狩市民カレッジとして決して外せない講座だと思います」「安田さんの巧みな解説、大満足です。詳細なカラー入りの資料は今後も自習で役立たせていただきます」「短時間で石狩の発展、歴史の痕跡を知ることができました」「石狩川右岸の河口を初めて行くことができ感謝しております」「来年度も参加したいです」



### ◇まちの先生企画講座1「みんなのクラシック音楽」

「久しぶりにフルートの音を耳にしました。落ちつく音色で心が安らぎます。音のシャワーを浴びる”気軽に楽しむのには良いことですね”「毎回大変な練習してえらいと思う。私も頑張ろうと。『場を支配する』感動などとても勉強になりました」「すごく身近に聴けて良かったです。沢山クラシックの魅力を語っていただき、これからの札幌などを聴く楽しみが増えました。又、是非演奏の機会を設けて欲しいと思います。忙しい中有り難うございました」



### ◇まちの先生企画講座2「手作りこうじで健康的な食事を」

「塩こうじを作るにあたって手順がわからなかったのが、とても分かりやすく教えていただきありがとうございます」「初めて醤油こうじを作ったものを食べました！こうじだけでこんなにおだしが出るのかと感動しました。こうじがどんなに体に良いものなのか、お話を聞いて嬉しかったです。次の玉ねぎこうじもめっちゃめっちゃ楽しみにしています！」「ずっと興味のあったこうじ作りを知ることができて嬉しかったです」



### ◇まちの先生企画講座3「ペーパークラフト小物づくり」

「久々に指先の運動をしたような感じがしています。交流も含めて来て本当に良かったです」「完成できなかったのが残念です」「大変楽しく過ごさせて頂きました。初めてだったので苦労しました」「初めての体験で楽しかったです。もう少し時間的に余裕があったらと思いました。前もって準備されていてありがとうございました」「教えて貰って良かったです。色々出るのが楽しみです」「解りやすかった。一人ひとり教えて頂いたので楽しい作品が出来て！持って帰れる」



## いしかり市民カレッジ展のお知らせ

春の「いしかり市民カレッジ展」を石狩市花川北コミュニティセンターにおいて5月19日～23日まで開催しました。

今年2回目は道民カレッジ情報交流広場（学びの広場）において開催します。期間は10月1日～15日です。いしかり市民カレッジの活動内容を紹介し、カレッジ生を幅広く募集いたします。

場所は札幌市かでの 2・7（北海道生涯学習推進センター情報交流広場）  
札幌市中央区北2条7丁目かでの 2・7 9F



## ボランティアスタッフ 募集説明会を開催しました！

5月24日(土)、石狩市民図書館視聴覚室で「スタッフ募集説明会」を開催しました。大勢の参加者を期待していましたが、残念ながら参加されたのは女性おひとりでした。それでも少人数の中親しみやすい雰囲気の中で市民カレッジの活動についての説明を聴いていただくことができました。早速5月27日(火)の主催講座3「初心者のための初心者の俳句教室」第2回のサポーターを努めていただきました。



## カレッジ生になって一緒に学びませんか!!

年度会費 1,000円  
受講料 1回500円（一般700円）  
カレッジ生優先（見学学習など）  
学びの記録手帳・修了証・情報の配信

多彩な講座を企画  
・主催講座（13講座26回）  
・まちの先生企画講座（5講座12回）

入会はいつでもOKです、お待ちしております!!



# ひろば

ISHIKARI  
CITIZEN'S  
COLLEGE

チョコっと  
いしかり学  
《32》

## 石狩のイソコモリグモ

いしかりのいそこもりぐも

石狩ファイル 0142-01(2015/3/31)  
発行 石狩市教育委員会

節足動物門（もん）／クモ綱（こう）／クモ目／  
コモリグモ科 *Lycosa ishikariana*



コモリグモ科のクモは、餌を捕るための網を張らず、徘徊して獲物を狩ります。メスは産卵すると、腹部の端に卵のうをつけて歩き回り、孵化（ふか）した数十頭の子グモは母グモの背にしがみついて一緒に移動する時期があります。

イソコモリグモは、北海道から鳥取県までの日本海沿岸と、茨城県までの太平洋沿岸の、良好な自然が維持された砂浜のごく一部に分布します。環境省の絶滅危惧種（II類）に指定されています。大きさは、メスの体長（脚を除く）15から23ミリメートルくらい、オスは10から17ミリメートルくらい、砂に直径2センチメートル、深さ10～20センチメートルくらいの巣穴を掘り、入口付近は砂粒を糸でつづり合わせて崩れないように固め、日中や雨天時には砂を糸でつづったふたをして、ベッコウバチなどの侵入や雨水を防ぎ、その中に潜みます。夜行性で巣穴の付近を通る小さい昆虫や小型甲殻類を捉えて食べます。

イソコモリグモが生息するのは、自然の砂浜に限られます。汀線（ていせん）に平行して海浜植物が帯状に分布しているところ、特に地を這う植物の周辺の砂地が適地で、背丈のある草本が茂るところは適さず、満潮時に水没するところにはすめません。また、砂浜の長さが数キロメートルのまとまりがあることも重要です。イソコモリグモの子は分散する時に、他のコモリグモのように草の上から糸を流し、風に乗って飛ぶ「飛行分散」をせず歩いて散っていくため、分散能力が低く、砂浜が短期間で人為的に分断された場合、そこに生息している個体群は孤立し、存続が危うくなるためであると考えられています。

日本の海浜は、ダムによって砂の供給が止まったことや海岸に人工的な構築物が作られたために幅が狭まったり、砂が移動する等の理由で、自然の砂浜が減少を続けています。

石狩浜は、広大な砂浜が広がっているためにイソコモリグモの分布域となったと推測されていますが、近年は砂浜が縮小する傾向にあり、イソコモリグモの生息適地が狭まってきています。（林 迪子）



イソコモリグモ  
の穴約2cm

### 【参考文献】

- ・八幡明彦(2009)自然海浜にすむイソコモリグモ. 自然保護, 509, 40-42.
- ・新海栄一・高野伸二(1984)フィールド図鑑／クモ. 東海大学出版会.

編  
集  
後  
記

## 石狩に学びの館燦々と

一句捻ってみました。今年の主催講座は目新しい試みをしており、「あい風通信」の内容も新企画『この方に聴く』というコーナーをスポットで設けていきます。今後も皆さまの満足度を高めていけるよう生涯教育の価値向上に努めて参ります。乞うご期待！

G..Kadoma



■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会  
編集担当：鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課(石狩市民図書館内)  
石狩市花川北7条1丁目26 TEL&FAX:0133-74-2249  
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)